

(様式9)

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 26日

事業所名 はぴるど

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			・職員の目が届きやすい開放的なスペースで国の設備基準以上の広さがあります。	
	2	職員の配置数は適切であるか	8			・国の人員配置基準に加え、理学療法士を1名多く配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8			・屋内は段差がなく、玄関のスロープやトイレの手すり等、車椅子の方も利用しやすくなっています。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			・毎日の職員ミーティングでの振り返りを行っています。	・評価を重視したPDCAサイクルに取り組み、療育の質の向上を目指しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			・年1回のアンケート実施により、業務内容の改善につなげました。	・評価表に表れない、日々の意向に対しても、取り入れ改善しました。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			・当社ホームページに公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	3		・第三者委員は設置していますが、コロナ禍で中止し、再開できていません。	・感染状況に留意しながら再開を検討しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・虐待防止、感染対策のほか、脳性麻痺・発達障害などの疾患別の研修を行っています。	
適切 な 支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・身体・精神・発達などの細やかな視点による評価と、将来を見据えたプランを重視しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			・成育歴、発達過程、既往歴及び日々の困りごと等の標準化した調査票を使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		・活動担当と訓練担当を中心にチームで行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			・固定化しないよう年単位で大まかな計画を立て、利用児の意見を取り入れています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			・長期休暇等はあらかじめ午前・午後それぞれの計画を立て、対象のメンバーによりプログラムを立案している。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標	
支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・午前と午後の活動は集団を基本として、個別の訓練等は保護者と相談しながら決めています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			・支援前に常勤職員間で打ち合わせを行い支援の役割や内容を確認し、系列事業所でZoomを使った情報共有も行ってきます。非常勤職員には出勤時に口頭で伝えています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			・支援終了後の打ち合わせでは、支援の振り返りの他、保護者との会話や学校の情報などの共有を図っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			・利用時には必ずケース記録を取り、その内容を計画書の立案に活かしています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			・6か月に1度モニタリングとカンファレンスを行い、計画書の見直し、変更をしています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8			・利用児の障害や発達過程に応じ、創作や感覚遊び、基本動作訓練等、多面的な余暇を提供しています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2		・コロナ禍もあり、担当者会議は開催されず、モニタリングの際に情報共有を行っています。担当は児童発達支援管理責任者が行っています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1		・行事予定や下校時刻の変更等は学校と保護者に協力して頂き、トラブルなく送迎できるよう努めています。また、送迎時に学校との情報共有を積極的に行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4		・主治医と直接連絡を取ることとはしませんが、保護者から書面または口頭にて経過や情報を得ています。	・保護者を通じて、積極的な情報収集に努めます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	4		・保護者からの聞き取りや書面での情報収集を基本とし、必要があると判断した場面のみ、保護者からの許可を得て連絡を取っています。	・より情報共有できる方法を検討していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2		・学校の就職担当および相談支援員に卒業時の情報提供を行っています。	・保護者を通じて、情報提供できるよう書式を検討します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2		・児童発達支援センターからの問い合わせや、情報提供などを行っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	4		・障がいのない子どもとの機会は設けていませんが、複数の支援学校や普通校の支援学級の児童と関わる機会があります。	・感染状況に留意し、交流の機会を検討します。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	8			・法人から1名、盛岡市自立支援協議会の委員として参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			・帰りは保護者のお迎えのため、毎回その日の様子や最近の様子などを共有することができています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	3		・身体の相談や、発達の相談、装具の相談等に関して支援を行っています。ペアトレは職員が受講しました。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			・契約時の細やかな説明に努め、変更時などは個別に説明していません。また、画一的にならないように丁寧な相談を行いながら支援内容を計画しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			・利用中のことだけでなく、家庭での過ごし方や、兄弟との関係、卒業に向けての課題等、幅広く相談支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	4		・保護者会には消極的な意見が多かったことから開催していませんが、保護者同士の集まりなどに会場提供を行っています。	・次年度は保護者会の実施を計画しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			・岩手県福祉サービス運営適正化委員会の委員を招いて行った研修資料を用い、苦情に関する対応・理解に努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			・毎月、広報誌を発行し、活動や行事などを子どもや保護者に発信しています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	8			・契約時に個人情報保護に関する説明と、使用に関する同意書をいただき、職員は「守秘義務に関する誓約書」を順守しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			・保護者と相談し、個々の利用児に合わせた意思の疎通や理解に努めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	5		・コロナ禍ということもあり、地域に開かれた事業運営に至っていません。	・地域に開かれた運営を検討します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			・各種マニュアルを策定し、職員への周知や研修会を行っていますが、保護者への周知はできていません。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			・年に2回、火災や洪水時の避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			・毎年、虐待防止についての研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			・身体拘束は行っていませんが、事業所内で研修を行い身体拘束の理解に努めています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	3		・アレルギーは保護者からの聞き取りを中心に対応しています。医師の指示書を要する対応はしていません。	・必要に応じて指示書の提示を求めます。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			・事業所内で共有しています。		